



ふねあいのひろば

第40号



富川市との友好のシンボル「友好の碑」除幕式

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が着実に進む中で、国際交流や多文化共生の重要性はこれまで以上に高まっていると感じております。

岡山市においても外国人人口は増加傾向にあり、技能実習制度及び特定技能制度の見直し等により今後も増加することが予想され、地域社会での多文化共生に向けた取組が一層求められるようになってきております。

さて、昨年は5年ぶりに中国・洛陽市と対面による交流が再開しました。4月には中国洛陽牡丹文化祭りへの招待を受け、岡山市公式訪問団が中国・洛陽市を訪問しました。また、11月には洛陽市人民政府訪問団が岡山市を訪れ、岡山城の管理方法や、歴史・文化資源を活用したまちづくりについて意見交換を行ったと伺っております。

また、大韓民国・富川市から訪れた市民友好親善訪問団とともに、北長瀬未来ふれあい総合公園に友好のシンボルとして設置した「友好の碑」の除幕式を行いました。この碑が、今後も続く両市の交流のシンボルとなることを期待しています。

さらに、隔年で実施している国際サマーホームステイ事業を6年ぶりに再開することができました。6つの国際友好都市・地域から46人の子どもたちを受け入れ、市内の中高生との交流体験活動を通じて、お互いの文化に触れ、国際理解を深める貴重な経験を得ることができました。参加した子どもたちが、新たな国際交流の架け橋となり、未来を切り開く力となることを願っております。

岡山市では、体系的かつ専門性を有した日本語教育施策を総合的に推進するための指針として、昨年4月に「岡山市日本語教育基本方針」を策定しました。

この基本方針に基づき、地域に増加する外国人市民が地域での生活に必要な日本語能力を身につけられるよう、岡山市日本語教室を福浜公民館及び万富公民館に開設しました。これらの日本語教室が、日本語学習だけではなく外国人市民の居場所や地域とのつながりの場といった多文化共生のプラットフォームとなるように取り組んでまいります。

今年は、子ども海外派遣事業を実施するなど、様々な国際交流事業を予定しております。当協議会の活動によって相互理解と友好親善の促進につながるよう努めてまいりますので、今後とも皆様方のより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 松田 久